

2024年3月5日



森と海の自然科 活動案内

## 佐保川桜並木・法華寺・平城宮巡り

B グループ 池田

1：日時 2024年3月28日（木）

2：集合 近鉄奈良線新大宮駅改札口 10時

トイレは駅構内にはありません。

駅前バス停の後方にあります。

（法華寺まで、トイレはありません）

3：行程 10：00 新大宮駅～大佛鐵道記念公園（1.8 km）

10：30 大佛鐵道記念公園～法華寺（2.0 km）

11：30 法華寺～東院庭園（0.8 km）

12：00 東院庭園～平城宮いざない館（1.0 km）

12：10 いざない館前の広場にて昼食（近くに食堂もあります）

13：00 ガイドの案内にて、いざない館及び平城宮公園を散策

14：45 西大寺駅行きのバスに乗車（¥100 必要です）

15：00 西大寺駅前にて解散

※ 当日の奈良の雨予報 50%以上の場合は中止、前日の 17 時頃に連絡します。



法華寺護摩堂



東院庭園

佐保川の桜並木は江戸時代末期に、奈良奉行 川路聖謨によって植樹されたのが始まりで [川路桜]と呼ばれています。又、大佛鐵道とは明治31年に開業し、加茂駅と大仏駅を結び翌年に現在の JR 奈良駅まで延伸した路線です。

しかし、勾配の大きい坂やトンネル、そして橋梁が多く当時の機関車での運行が困難であったことから、開業からわずか9年で廃線となりました。

法華寺の歴史は今から1300年ほど前、聖武天皇の後・光明皇后の発願によって始まりました。正式には法華寺滅罪之寺（ほっけじめつざいのてら）といい、総国分寺である東大寺に対し、総国分寺尼寺（にじ）として、女人成仏の根本道場としての役割を担いました。